

## ■中国：エネルギーの開発方針を発表

国家能源局の関係者は2010年10月30日、「第十二次5カ年計画」期間のエネルギー開発について、山西省とオルドス盆地（内蒙古自治区西部）、西南地区、内蒙古自治区東部、新疆ウイグル自治区に総合エネルギー基地を5カ所、中東部地域に原子力発電所を建設するという“5+1開発方式”を明らかにした。また、2030年には5カ所の総合エネルギー基地の一次エネルギー供給力を、新規の供給力増加分の85%となるよう増強するとしている。なお、2015年の一次エネルギー消費量を40～42億トン（標準炭換算値）に抑制する方針を示した。さらに、「第十二次5カ年計画」期間のエネルギー政策の基本方針として、（1）化石エネルギーの開発を合理化、（2）非化石エネルギーの開発を加速、（3）エネルギー輸送用パイプラインを強化、（4）エネルギー科学技術と設備の進歩、（5）省エネと汚染削減に注力、（6）エネルギー事業の国際協力を強化、（7）エネルギー体制の改革を加速、を掲げている。